



夕刊 九月二十一日 行發日一十二月九

歌謡 小説

伊納川 銀七

「さあ、向ふへ行くんだ」 立ち上つた僕をつきとばすやうに...

新歌壇 小山田 滋選

朝晴れの分教場の門前に草を干しつゝ静けさを知る...

潮聲 観静抄帳

うらぶれた軒に明るく燈籠の光を照らす...

平地方の方

盛岡 高木 稻水 十三 ぼろすけ ふくろふ、ぼろすけ...

拾華樓笑

喜ぶ赤井の連中 旅立つた酒好き...

その男

湖心に睡る冬月に誘はれて 環境と因襲の墓場から...

幕末神風組

(9) 土生 太郎 作 高根 秀浩 書

社會の今日

栗飯に子の友招びぬ誕 聖賢士の巨きな影野...



「諸君、大勢はもう決つて集められてゐるに違ひない...

新製品發賣!!! 香味本場の本場録茶...

關影商店平支店 電話六一番...

吉田眼科病院 平町紺屋町 安齊外科醫院...

